

大気中水銀バックグラウンド濃度等のモニタリング調査結果について(2024年度)



環境省では、国内の発生源による影響を直接受けにくい地点（バックグラウンド地点）である沖縄県辺戸岬及び秋田県男鹿半島において、大気中水銀濃度等のモニタリング調査を実施し、2024年度の結果を公表しました。この調査は2007年度より毎年行われています。

2024年度の調査では、沖縄県辺戸岬及び秋田県男鹿半島において、指針値を十分下回り、これまでの結果とも大きな乖離はありませんでした。

大気中の形態別水銀の合計の年平均値は、辺戸岬において1.6 ng/m³、男鹿半島において1.6 ng/m³であり、環境中の有害大気汚染物質による健康リスクの低減を図るための指針値（年平均値40 ng/m³）を十分下回る値でした。

また、降水中の水銀濃度の年平均値は辺戸岬において5.4 ng/L、男鹿半島において5.4 ng/Lでした。辺戸岬、男鹿半島のいずれにおいても過年度の測定値の範囲内でした。

当社では、水銀の分析について今まで多くのお客様からご依頼を頂くと共に、多検体、短納期の体制で行っております。是非お任せ下さい。

資料 [2025年9月12日付 環境省 報道発表資料](#)

The Knights of Environmental Science
内藤環境管理株式会社

〒336-0015 さいたま市南区大字太田窪 2051-2
TEL.0120-01-2590 FAX.048-886-2817
URL: www.knights.co.jp

製品中PFAS分析について、規制される項目が増えています。

有機フッ素化合物(PFAS)は、国内外で規制の強化が進んでいます。これまでのPFOS、PFOAに加え、PFHxSやPFOA関連物質が化審法に追加され、POPs条約においては、長鎖のペルフルオロカルボン酸(炭素数9~21のもの)などの追加が検討される予定です。

お問い合わせはこちら